

2024年12月16日

日本海ガス絆ホールディングス株式会社
日本海ガス株式会社
株式会社ネクストプラス
アークエルテクノロジーズ株式会社

日本海ガス絆ホールディングスグループとアークエルテクノロジーズによる 共同実証により「AAKEL eFleet」で経済的なEV充電が可能に

日本海ガス絆ホールディングス株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：新田 洋太郎、以下「日本海ガス絆HD」）、日本海ガス株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：土屋 誠）、株式会社ネクストプラス（本社：富山県富山市、代表取締役社長：高橋 真人）は、アークエルテクノロジーズ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役：宮脇良二、以下「アークエル」）とEVスマート充電サービスの共同実証を行い、実証で得た知見によりEVスマート充電・運行管理システム「AAKEL eFleet」にピークシフト・ピークカット機能を追加したことをお知らせいたします。

日本海ガス絆HDグループは、低・脱炭素化への取り組みを通じ、気候変動の対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■経緯

日本海ガス絆HDグループとアークエルは2022年よりEV充電に関わる実証を共同で行っており、日本海ガス絆HDグループのソリューションサービス検討、実証場所の提供、EV車両・EV充電器設備の設置、EV社有車の通常運用を通じて実証内容を共同検討し、EV充電をより経済的に行える機能を追加しました。

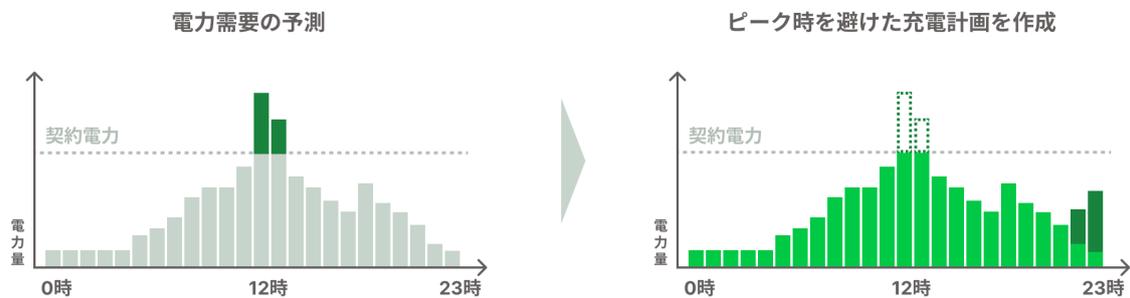


■EV 充電により電気代が高騰する要因

一般的に電気料金は、一日のうち最も使用量が多いピーク時間帯の電力使用量によって決まります。ピーク時間帯の使用量が契約電力（毎月使える電力の上限）を超えると、その後の基本料金が上がったたり、追加で料金が発生したりします。そのため、ピークシフトやピークカットを行うことで電気料金を抑えることが可能です。

■ピークシフト機能

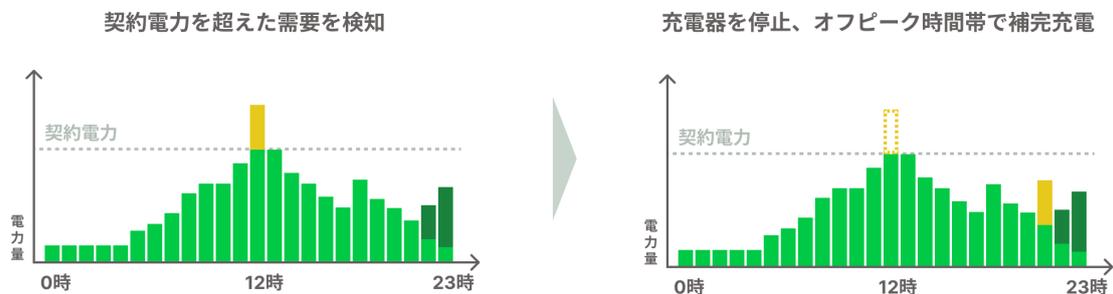
施設内で多くの電力を使う時間帯を予測し、その時間帯を避けて EV 充電を行うよう自動で充電スケジュールを調整します。これにより、施設全体での電力需要のピークを抑え電気料金の高騰を防ぐことが可能です。



■ピークカット機能

EV 充電中に施設全体の契約電力を超えるピーク需要を検知すると、充電器を停止し電力需要を自動的に抑制します。なお、停止による充電不足分は、オフピーク時間帯に補完充電を行うよう自動でスケジュールを調整します。これにより、突発的なピーク需要の発生を抑制します。

将来的には、EV 充電器に限らず適切な機器を全てコントロールできるように、制御対象を拡大する予定です。



【本件に関するお問合せ先】

日本海ガス絆ホールディングス株式会社
総合企画部 企画グループ 今木
TEL : 076-443-1811

日本海ガス株式会社
法人事業本部 エネルギー営業部 常川
TEL : 076-431-1400

株式会社ネクストプラス
業務部 牧田
TEL : 076-443-2630

アークエルテクノロジーズ株式会社
広報担当 井内
TEL : 092-732-7551

【その他お問い合わせ】

日本海ガス絆ホールディングス株式会社
人事広報部 CSR推進グループ 谷田
TEL : 076-443-1812